



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「人類に奉仕するロータリー」 Rotary Serving Humanity

2016-17年度 RI会長／ジョン・ジャーム

RI.D2590ガバナー／高良 明

横浜旭RC会長／青木 邦弘

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1F/〒241-0821
TEL.045-465-6702/FAX.045-465-6712
E-mail:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(株岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



旭区民まつりにて宮城復興米販売



第5回チャリティーコンサート



被災地の子ども達にクリスマスプレゼント

2017年6月14日 第2293回例会 VOL. 48 No. 44

■司 会 SAA 安藤 公一

■開会点鐘 会 長 青木 邦弘

■斉 唱 我等の生業

■出席報告

会員数	30名	本日の出席数	22名
本日の出席率	100%	修正出席率	100%

■他クラブ出席者

新川 (地区)

■恵送を受けた週報

横浜瀬谷 RC

■会長報告

○地区関係

1) 交換留学生のオリエンテーション

日時 6月24日(土)14時～

場所 サンピア川崎

2017-18年度派遣学生壮行会

日時 7月2日(日)14時～

場所 サンピア川崎

会長・幹事・カウンセラーを始め関係各位の参加を求められています。派遣学生の塩麻里奈さんには、7月には挨拶に来る予定です。旭ロータリーのバナーを20本持たせたいと思います。

○クラブ関係

1) 岩沼ロータリークラブから相撲観戦のお

礼として、ハウス栽培の品を送ります。との連絡がありました。

2) 後藤さんの前を通りましたら、旭ロータリーの看板が取り外されていました。内田さん、佐藤さん有難うございました。又、新事務所に郵便ポストの設置もしていただきました。

■グループ研修に関して 田川 富男

研修委員会の増田委員長より研修テーマを受け、メンバー内田、北澤、田川の三名にて、以下のテーマで研修を致しました。

課題1) クラブ奉仕委員会の存在意義

課題2) クラブ奉仕委員会として、独自の活動が考えられるか、そもそも独自の活動など予定されていないのか。

クラブ奉仕委員会は、奉仕活動をするために必要な接着剤として全体の意識を高めることが出来る委員会だと思われます。全会員がクラブ奉仕の委員であり何らかの活動をしています。もし、この委員会を解散させればロータリークラブではなく、ただの奉仕団体であり、空中分解も時間の問題と思われます。プログラムもなく、出席、親睦も出来ず、増強活動もしませんから将来もありません。クラブ奉仕委員会の活動自体がロータリーそのものであり、意義ある委員会です。そして委員

長は各委員会をまとめ、残りの四大奉仕の活動を支援していく義務があると考えられます。

■ニコニコ BOX (会員敬称略)

青木 邦弘／例会あと2回です。今回は北澤さんの卓話です。よろしくお願いします。

北澤 正浩／拙い卓話で申し訳ございません。先にお詫び致します。

二宮麻理子／北澤さん、本日の卓話よろしくお願いします。

吉原 則光／梅雨時にもかかわらず好天の例会です。北澤さんの卓話楽しみです。よろしくお願いします。

後藤 英則／北澤さん、本日の卓話楽し味です。

安藤 公一／①北澤さん、卓話宜しく申し上げます。②岩沼 RC からメロン、美味しく頂きました。

市川 慎二／北澤さん、卓話楽しみにしています。

大川 伸一／北澤さん、本日の卓話をよろしくお願いします。

田川 富男／①北澤さん、職業卓話宜しく申し上げます。②岩沼 RC のメロン、ありがとうございます。

太田 勝典／北澤さん、卓話楽しみです。

滝澤 亮／北澤会員、本日の職業卓話よろしくお願いします。

鈴木 茂之／みなさん、こんにちは。本日の卓話、北澤さんよろしくお願いします。楽しみにしています。

新川 尚／北澤さん、卓話楽しみです。

斉藤 善孝／北澤さん、本日の卓話宜しく申し上げます。

二宮 登／北澤さん、本日の卓話を楽しみにしています。

■職業卓話

「将来の住宅建築 (ZEH仕様について)」

北澤 正浩

○住宅建築に求められるもの

我が国の家庭部門における最終エネルギー消費量は石油危機以降約2倍に増加し、全体の15%程を占めています。また、東日本大震



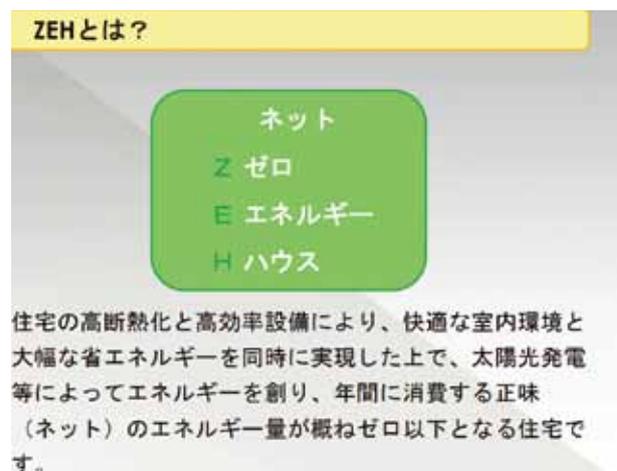
災後の電力需給の逼迫やエネルギー価格の不安定化などを受け、家庭部門における省エネルギーの重要性が再認識されています。

加えて、2015年7月に策定された長期エネルギー需給見通し(エネルギーミックス)では、省エネルギーについて、石油危機後並の効率改善(35%程度)を実現することを目標としており、その為には、住宅そのものの省エネが不可欠となっています。

目標達成の為に新たな住宅の仕様としてZEHの普及を国策としました。ZEHにより、家庭部門におけるエネルギー需給構造を抜本的に改善することが期待されます。

○ZEHとは？

住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境と大幅な省エネルギーを同時に実現した上で、太陽光発電等によってエネルギーを創り、年間に消費する正味(ネット)のエネルギー量が概ねゼロ以下となる住宅です。



○ZEHにするメリット

①ランニングコストが抑えられる。

光熱費が1/4～1/3になった家もある。

②太陽光発電を設置した場合には、売電収入で収支がプラスになることもある。

③補助金が出る。

平成 29 年度で 75 万円

(9700 件程度平成 29 年 5 月～平成 29 年 8 月頃)

④健康に暮らせる。

断熱がしっかりしている為、ヒートショック等が防げる健康に暮らせる家になる。

○ ZEH にするデメリット

①建築コストが上がる。

最低限で 150 ～ 350 万円

②補助金は出るが減額の傾向。

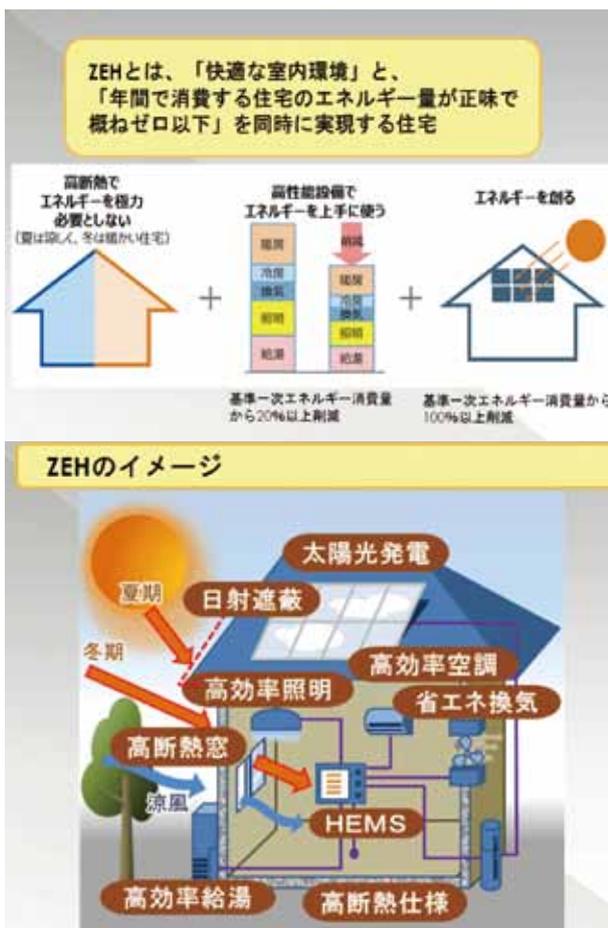
平成 28 年度 125 万円⇒

平成 29 年度で 75 万円

③窓・ドアのサイズ、間取りが制限される。

④太陽光発電の設置に伴う建物への影響が心配。

○ ZEH 普及の為に建設業者へ強いられること



経済産業省では、「2020 年までにハウスメーカー等の建築する注文戸建住宅の過半数で ZEH を実現すること」を目標とし、普及に向

けた取り組みを行っています。

目標の達成に向け、平成 28 年度の ZEH 支援事業（補助金制度）においては、自社が受注する住宅のうち ZEH が占める割合を 2020 年までに 50%以上とする目標を宣言・公表したハウスメーカー、工務店、建築設計事務所、リフォーム業者、建売住宅販売者等を「ZEH ビルダー」として公募、登録し、屋号・目標値等の公表を行っています。

平成 29 年 3 月現在において、全国のハウスメーカー、工務店を中心に 5,566 社が ZEH ビルダー登録を行っています。登録された ZEH ビルダーは全都道府県にわたり、一般社団法人環境共創イニシアチブのホームページより都道府県別に検索が可能です。

○ ZEH についての私見

近い将来、ZEH の仕様が全ての住宅に採用するように国は推し進めています。全ての建設会社が ZEH 仕様を歓迎しているわけではありません。各社独自で長年培った仕様を省エネルギー対策の為に変えることに抵抗を感じている建設業者は多いのです。

日本の気候風土に合わせて変化を続けてきた建築技術が統一した仕様を強要されてしまうことに私も不安を感じます。長年注文住宅を造り続けてきた者としては、お客様の要望をできるだけ叶えることが使命と考えていますが、将来はすべて計算の中で間取りを決め、サッシの大きさも決め、太陽光の為に屋根の形状を決めるような、どこで造っても同じような家づくりをすることになるかもしれません。

これからはハウスメーカーがさらに有利になります。ZEH というのはそういう仕様です。当社を含めて地域の工務店にとっては厳しい時代になると思います。

ご静聴ありがとうございました。

■次週の卓話

6/28 (水)最終例会

場所 仕立屋

点鐘 午後 6 時

週報担当 五十嵐 正

■大規模災害発生時における会員の安否確認方法

災害対策委員会

大規模災害時発生における会員の速やかな安否確認は、当クラブとして被害状況を正確に把握し、災害支援活動を進めるために必要不可欠であります。そこで大規模災害時には、下記要項にて安否確認を行います。

1) 連絡方法

大規模災害発生後、次の方法でクラブ事務所へご連絡ください。

①当クラブへメールで

ア) メールアドレス

asahirc@titan.ocn.ne.jp です。

予め登録しておいて下さい。スマートフォン、携帯電話、PC等今回に限らず、将来も含めてお手持ちの連絡手段となる可能性があるもの全てに登録しておいていただければと思います。

イ) 送信は件名欄に氏名と安否確認を入力、送信、件名欄の記載で安否確認が分かるようにお願いします。

送信例

○良い例 件名欄「朝日太郎無事」

本文なし

×悪い例 件名欄「安否確認」

本文欄「朝日太郎無事」

ウ) スマートフォン、携帯メールについて、

PCアドレスからのメール受信を拒否する設定をされている方は、例外的に受信できるように設定変更をお願いします。

②メールを発信出来ない状況にある方は、FAXで送信して下さい。FAXは災害時に電話が不通となり何度か繰り返していただくことが予想され、届くまでに時間を要することも予想されますので、できる限りメールでの送信をおねがいします。

ア) FAX 045-465-6712

登録しておいて下さい

イ) 特に書式は設けませんが、お手元にある用紙に、氏名と安否状況を記載し送信して下さい。

2) クラブからの安否問い合わせ

①災害対策委員会では会員の連絡先を記載した緊急連絡名簿を作成して委員長が管理しています。

②大規模災害発生後、災害対策委員長あるいはその指名をうけた委員は事務所に到達次第、それ迄に安否確認連絡のない会員に対し、安否問合せの連絡を入れます。

③会員はメール又はFAXで返信してください。

④この問い合わせは、当クラブが災害時相互支援協定を締結している岩沼ロータリークラブにより行われることもあります。

2016～2017年度 第17回 理事会 議事録

日 時	平成29年6月7日(水) 11時30分～	青木 邦弘 安藤 公一 五十嵐 正 佐藤 真吾 北澤 正浩 新川 尚 田川 富男 市川 慎二 二宮 麻理子 滝澤 亮
場 所	仕立屋	(欠席) 鈴木 茂之 佐藤 真吾 福村 正
報告事項	1)熊本からの茶話会約10,000円を使用しました。 2)区民スポーツ祭に10,000円寄付しました。	
審議事項	1)次年度繰越金約180万円 ・復元費用761,184円 敷金30万円入れてありますので実質461,184円です。 ・次年度へ50万円プラス端数を繰越金とし、 残りは50周年積立金にまわすことになりました。 2)相撲観戦二次会の費用、参加者で頭割り一人12,000円徴収する事になりました。 ちゃんこ屋参加者はよろしくお願ひいたします。 3)例会場を提供頂いている岡田さんへ感謝状を送ることになりました。 最終例会にて対応する事になりました。 4)事務所を提供して頂いている太田さんに電気・水道代として 月5,000円 6月から13か月分 65,000円前払いとすることになりました。	